

◆◆◆ 指標項目 ◆◆◆

指 標 項 目	現状値 2015(平成27)年度	目標値 2020(平成32)年度
男女共同参画社会という言葉を正しく理解している人の割合	24.5%	35.0%
「男性は仕事、女性は家庭」といった考え方について、「そう思わない」と回答する人の割合	57.0%	70.0%
社会全体で「男女の地位は平等」と感じる人の割合	13.4%	20.0%
男女共同参画フォーラム等の啓発事業における男性参加者の割合*	14.6%	30.0%
「ワーク・ライフ・バランス」という言葉を知っている人の割合	21.1%	35.0%
家庭生活で「男女の地位は平等」と感じる人の割合	40.2%	50.0%
各種審議会等(地方自治法第202条の3)に占める女性委員の割合	30.1%	40.0%
特定健診の受診率*	32.5%	60.0%
がん検診等の受診率*		
乳がん検診	17.1%(40.8%)	50.0%
子宮がん検診	18.9%(41.6%)	50.0%
肺がん検診	20.5%(35.1%)	50.0%
※実績値は市で実施する検診受診率。()内の数値は2014(平成26)年度健康づくりアンケート調査結果で、市で実施する検診の他、会社や個人的に実施しているものを含む。		
DVを受けた経験があると回答した人の割合	9.5%	根絶を目指す
DVを受けた経験がある人のうち、どこ(だれ)にも相談しなかった人の割合	36.2%	20.0%

*啓発事業における男性参加者の割合、特定健診及びがん検診等の受診率については、「現状値」は2014(平成26)年度の実績値、「目標値」は2019(平成31)年度の目標値になります。

計画の推進体制

将来像『輝いて 自分らしく生きられるまち 鹿嶋』の実現に向け、本計画を着実に推進していくにあたっては、市民・市民団体、事業者、行政がそれぞれの役割を担い、十分にコミュニケーションを深めながら、相互の信頼と合意のもとに、一人ひとりができることから行動を起こし、ともに取り組みを進めていく必要があります。また、すべての分野に性別や年齢を問わずバランスのとれた人材の社会参画を促進し、多様な意見が鹿嶋づくりに反映されるよう、意識と行動に移せる環境づくりを推進するとともに、行政自身も「職員力」を高め、市民の誰もが輝く鹿嶋づくりを進めます。

市民・市民団体

■日常生活での推進

意識や暮らしを見直し、ともに責任を分かち合い、理解し、協力し合い、家庭や職場、地域などあらゆる分野で男女共同参画を推進しています。

■まちづくりへの積極的な参画

行政とともに考え、主体的にまちづくりに参画します。

事業者

■事業活動での推進

男女の均等な機会と待遇を確保し、就労者が職業生活における活動と家庭生活等における活動とを両立できるよう職場環境づくりを推進します。

■市の施策への協力

男女共同参画のまちづくりに向けた市の取り組みについて理解し、連携・協力を図りながら、男女共同参画を推進します。

連携・協力



行政

■市民・市民団体、事業者との連携

市民・市民団体、事業者とともに男女共同参画のまちづくりのあり方を考え、連携・協力し、それらの実現に向けた施策を実施します。

■施策の推進

市が実施するあらゆる施策に男女共同参画の視点が反映され、市民一人ひとりが個性と能力を発揮し、多様な生き方が選択できるよう、社会環境や条件の整備を進めます。

■国・県との連携

国・県など関係機関と十分に連携を図り、男女共同参画の推進を図ります。

●目指す将来像
「輝いて 自分らしく生きられるまち 鹿嶋」